



研究テーマ 9年間を見通した豊かな学びを目指して



～授業スタイル（振り返り）と家庭学習の充実の共通化を目指して～

【課題】

- 記述式・無回答率が高いことと関連し、「書くこと（書く力）」の正答率が低い
- 自分で計画を立てて勉強する（全国学力・学習状況調査の結果から）

綾北中学校

持続可能な社会に向けた価値観をもった生徒の育成

～ESD/SDGsの視点から指導の改善を図る～
(日本ESD学会会長：見上 一幸 先生)

【現状】

- テレビゲームの時間が多い
- 携帯電話・スマートフォンの利用時間が多い
- 家庭学習の時間が少ない（全国学力・学習状況調査の結果から）

綾瀬市型小中一貫教育モデルの推進 (綾瀬市型小中一貫教育推進連絡協議会)

綾瀬小学校

自分で考え行動できる子の育成

～学びと学びのつながりを意識した授業改善を通して～
(國學院大學教授：田村 学 先生)

あ：あやせ型授業モデルの実践

☞授業には「めあて」と「振り返り」

や：やってみよう！家庭学習！

☞授業の振り返りを生かした家庭学習

せ：先生はチーム綾瀬を意識！

☞中学校区毎に交流会・校内研究への参加

寺尾小学校

主体的に向き合い、高め合う子

～自分の考えをもつことと、友だちとの学び合いを大切にした授業を通して～
(横浜国立大学教授：池田 敏和 先生 他)

かながわ学びづくり実践研究推進校担当者会

綾北小学校

生き生きと学び合う子

～資質・能力の育成を目指した生活科
・総合的な学習の時間の年間指導計画の作成～
(日本生活科・総合的学習教育学会顧問：吉田 豊香 先生)

天台小学校

学びを楽しむ子をめざして

～児童が資質・能力を身につけるための
単元づくり・課題づくりを通して～
(横浜国立大学非常勤講師：白井 達夫 先生)

綾瀬市型小中一貫教育の推進と連携を図りながら、授業スタイルの共通化、家庭学習の充実（習慣化）、小中学校間の教員の交流を柱としながら、各校の校内研究を充実させることで児童・生徒の学力の向上を図ってきました。この取組みをさらに市内全校に広めて、綾瀬市全体で足並みをそろえた推進に努めています。